

■手段の価値■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 344 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

344 目次

1. トピックス：Tプロジェクト始動するかも
 2. ブログより：手段の価値
 3. 今週のお誘い+今後の予定
 4. アクセスポイント：問い合わせ先
 5. このメルマガについて
- バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. トピックス：Tプロジェクト始動するかも

去る 10 月 25 日に書いた「前略 土地所有者様」という僕のブログを、あなたはお読みにになりましたか？

<https://nanoni.co.jp/20211025/>

実は、先週のブログに書いた「みんなの裏山 PJT」の発案者である登さんが見つけた「売却価格 100 万円の 3,000 坪古民家物件」の所有者に宛てた、購入申込書の文面でした。

先月末で締め切られたこの物件の購入申し込み総数は、何と 430 件と知らされて、さすがに諦めムードになりました。

そこで僕たちは原点に立ち返り、「みんなの裏山」の実現に向けて動き出しました。

ところが 11 月 21 日の午前中、何と古民家所有者の S さんから登さんにメールが届きました。

その文面は「登様、古民家のオーナーの S です。この度はお問い合わせありがとうございました。一度現地を確認いただきたいのですが、ご都合をお聞かせください。.....」という内容です。

早速日程を調整し、S さんに返信することにしました。

.

という訳で、行先は茨木県の筑西市。

最寄り駅は、JR 水戸線の新治駅です。

筑西市の古民家から始める国づくりなので、「Tプロジェクト」と呼ぶことにして、早速参加者を募り始めたいと思います。

まずは現地調査から始めますので、詳細のご説明は次の機会にいたします。

でも、参加を希望なさる方には、手持ちの情報をすべて共有した上で、メッセージャーグループにご招待いたします。

あなたのお問い合わせを、お待ちしております！

.....

2. ブログより：手段の価値

高齢者の居住形態多様化について研究するKさんは、笑恵館を含む 10 例ほどの多様な事例を探し出し、取材調査を申し入れたという。

もちろんコロナ禍に配慮して訪問調査は諦め、オンラインやメールなどの通信を駆使することにした。

そんな彼の申し入れを受け入れて、まずは zoom で面談した。

彼は多数の事例を当たることで、自分の仮説を統計的に検証するのではなく、特筆すべき少数の事例を掘り下げることにより、自らの感覚で確証を模索したいという。

ならば、web 検索で見つけた事例から通信により情報を収集するのではなく、現地の空気を体感し、関係者に面談すべきとアドバイスした。

そして昨日の午後、大阪から大学院生のK君が笑恵館にやってきた。

・

昨日は、世田谷区内で住み開きの先駆者でもある「岡さんのいえ TOMO」の皆さんや、起業相談に見えた「RYUSENpjt」のYさん姉妹など、たまたま来客が立て込んでおり、Kさんの対応は笑恵館クラブのメンバー有志にお願いした。

でも、アパート住人のお二人に加え、シフォンケーキ作りに挑むTさんの他、笑恵館に触発されて自宅の一部を開放するご近所のOさんは、なんとKさんをご自宅にまで案内した。

僕が来客対応を終えた時、すでに 16 時を過ぎていたが、笑恵館住人のOさんのお説教を聞き終えたKさんが、嬉しそうに僕を迎えてくれた。

そして「みなさん親切で、貴重なお話をたくさんいただき感謝しております。なにより楽しかったです！」と感想を聞かせてくれた。

・

そこで僕はKさんに、わざわざ現地を訪問し、関係者と面談することの意義を再確認した。

居住形態の多様性とは何か、それは個人の暮らし方の多様性でなく、周囲の人々との関わり方の多様性だ。

他人と関わり何かを共有することで、孤立を防ぐことの多様性こそが、Kさんの挑みたい課題ではないだろうか。

だとすれば、コミュニケーションこそが共有の行為そのものであることが重要だ。

通信＝テレコミュニケーションとは、共有を隔てる距離をつなぎ解消するための方法に過ぎない。

本来の目的が何かを共有することならば、そのための手段をコミュニケーションとよぶ。

それでは、コミュニケーションの方法は何かと言えば、それは言葉や身振りなど5感を駆使した会話のはず。

つまり、通信は距離を隔てた際の「疑似コミュニケーション」にすぎず、それではその価値を感じることはできないと僕は確信する。

・

これに似た話が「お金の価値」だ。

先般、高知の山奥に移住したHさんのことを紹介したが、お金が使える店やサービスのない山奥では、お金で対価を払えない。

そんな彼女がヨガ教室を始めると、参加費として野菜や魚をいただけるようになったという。

つまり、ヨガを教えるというサービスと食べ物の交換により、お金を介さない経済が動き始めたわけだ。

ところがそんな彼女から、面白い話を聞くことができた。

食べ物をたくさんいただいても、食べきれないし腐ってしまうので、とても困っている。
つくづく、腐らないし、もち運びにも便利な「お金の価値」が身にしみる・・・という訳だ。
つまり、お金の価値は「何でも買えること」でなく、「腐らず、かさばらず、数えやすいこと」だという。

ある目的を実現させるためにとる方法を手段という。

かつて僕は、この3つを目的(why)、方法(how)、手段(what)と捉え、これらを明確化することを中心に起業マインドサイトというセミナーを展開した。

そもそもこのメルマガは、当時の受講者向けのメルマガから始まった。

当時は「目的(why)／方法(how)=手段(what)」手段とは目的と方法の組み合わせの呼び名だと説明した。

だが、全ての名詞は名前であり what に相当する手段と言える。

つまり、「お金とは、何のために何をすることなのか？」を考えることが、何のため(why)、どうやって(how)を考える手掛かりになる訳だ。

通信とは、互いを理解し合うことでなく、遠く離れた人同士が会話の代わりにやる手段。

お金とは、何でも手に入る最良の価値でなく、あらゆる価値の保管や比較、運搬に便利な代替え手段。

今日の気づきはこの2つ。

変化したり、進歩するのは、あくまで代替手段であり、本当に必要なもの、本当に願うことは、あまり変わっていないのかもしれないと、僕は思った。

<https://nanoni.co.jp/20211121/>

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 11/23 休業日

交流○：10-14時 名栗の森・焚火 JAZZ (名栗)

(水) 11/24 なのに (自宅) 作業日

会議×：13-14時 地域社会圏研究所定時総会 (反町)

(木) 11/25 笑恵館 (世田谷) 作業日

会議◎：17-19時 笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

会議×：19-20時 開かれた臨海 PJT (zoom)

(金) 11/26 なのに (自宅) 作業日

交流○：15-19時 池尻ロマンス座同窓会 (IID・三宿)

(土) 11/27 笑恵館 (世田谷) 作業日

面談◎：09-17時 よろず相談会 (笑恵館)

面談×：10-12時 Wさん (笑恵館)

(日) 11/28 なのに (自宅) 作業日

(月) 11/29 なのに (自宅) 作業日

■定例の予定

- 毎 日 22-23 時 ○オンライン談話室 (zoom)
- 毎週火曜日 10-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- 毎週土曜日 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
- 第 1 土曜日 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)
- 第 2 木曜日 16-17 時 ○日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)
- 第 2 木曜日 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 第 2 金曜日 19-20 時 ◎カプラー起業交流会 (リモート)
- 第 3 木曜日 13-18 時 ○笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
- 第 3 木曜日 18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
- 第 3 木曜日 20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
- 第 4 木曜日 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 毎月 1 日 20-22 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (リモート)

■今後の予定

- 旅行× : 12/19~12/21 奄美大島 (個人旅行)
- 交流○ : 01/23 みんなの家シンポジウム (仙台・熊本・オンライン)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント : 問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669

自 宅 株式会社 なのに(取締役平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>